

上越市立春日新田小学校（4年生）において、 出前講座「川の防災学習」を実施しました。

関川流域を襲った7.11水害から20年が経ちました。子供たちは、あの水害の恐ろしさを経験していません。その一方、最近では、猛烈な雨が全国で頻発しています。こうした水害に備えるためには、「川の怖さや、水害時の行動などを学ぶ」ことや、「川に親しみ、川を常に気にかける」ことが重要です。

そこで、国土交通省高田河川国道事務所では、防災教育の専門家である上越教育大学大学院山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（計4組137名）を対象に、下記のとおり3回にわたる出前講座「川の防災学習」を実施しました。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

第1回 テーマ「川の防災に関する基礎学習」

災害の種類、過去の水害、洪水が起きる理由、洪水の被害を防ぐ方法 等

日時：平成28年10月11日(火)3限10:35～11:20(1組)、4限11:25～12:10(3組)

平成28年10月14日(金)3限10:35～11:20(2組)、4限11:25～12:10(4組)

場所：春日新田小学校 第2多目的室

第2回 テーマ「川の防災に関する現地学習」

洪水時の危ない場所の確認と避難場所の説明、地元の水害体験者からの聞き取り 等

日時：平成28年10月27日(木)2・3限9:30～11:20(1組)、5・6限13:40～15:30(2組)

平成28年10月28日(金)2・3限9:30～11:20(3組、4組)

場所：春日新田小学校周辺～関川（現地見学ルートは別紙-1のとおり）

第3回 テーマ「川の防災に関する自己学習」

通学路やその周辺の洪水時に危ない場所や避難場所をまとめる 等

日時：平成28年11月9日(水)3限10:35～11:20(1組)、4限11:25～12:10(2組)

平成28年11月10日(木)3限10:35～11:20(3組)、4限11:25～12:10(4組)

場所：春日新田小学校 第2多目的室



第1回講座風景



第2回講座風景



第3回講座風景

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

第1回「川の防災に関する基礎学習」実施結果

日時・場所：平成28年10月11日(火)、10月14日(金) 春日新田小学校第2多目的室

- 内容：①7.11水害について、全3回にわたる講座の説明
②上越市ではどのような災害が起きるのだろう
③上越市における過去の水害
④なぜ関川では洪水が起きるのだろう
⑤どうすれば洪水の被害を防ぐことができるのだろう

➤ 第1回 アンケート結果



7.11水害について

今から21年前に上越市で大きな水害があり、小学校周辺も水に浸かったことを学習しました。



全3回にわたる講座の説明

いつ起きるか分からない洪水に備えて、全3回の講座を学校内と学校外で実施することを説明しました。



上越市ではどのような災害が起きるのだろう

上越市では洪水が最も身近な災害であることを学習しました。



上越市における過去の水害

上越市は7.11水害など、何度も水害の被害を受けてきたことを学習しました。



なぜ関川では洪水が起きるのだろう（上越市の降水量）

メジャーを使って、全国各地の年間降水量を学習しました。上越市の年間降水量は約2700mmで、東京の約2倍もあることが分かりました。



なぜ関川では洪水が起きるのだろう（関川の流域・勾配）

関川には周辺の広い範囲で降った雨が集まること、関川は急勾配で勢いよく川の水が流れることを学習しました。



なぜ関川では洪水が起きるのだろう（高田平野のなりたち）

模型に雨を降らせて高田平野のなりたちを学習しました。私たちが暮らす高田平野は洪水が運んだ土砂がつくった土地で、元々洪水が起きやすいことが分かりました。



どうすれば洪水の被害を防ぐことができるのだろう

子供たちからは「堤防を高くする」「川の近くにカメラを設置する」などの意見が出ました。



パネル展示

7.11水害や、子供たちに協力してもらっている関川の美化活動（関川大橋付近のコスモス畑）に関するパネルを見てもらいました。

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

第2回「川の防災に関する現地学習」実施結果

- 日時・場所：平成28年10月27日(木)、10月28日(金) ※現地見学ルートは別紙-1のとおり
内容：①洪水時の危ない場所、避難場所を現地見学
②地元の水害体験者より7.11水害当時の様子、昔の川の様子を聞き取り
③洪水に備えた関川の施設を現地見学
④宿題の説明

➤ 第2回 アンケート結果



洪水時の危ない場所（縁石）

縁石は、洪水時は濁った水で見えなくなるため、つまづかないように気をつけることを学習しました。



安江2丁目交差点の7.11水害の水位標

7.11水害では、戸野目川の水位が高くなり、交差点では子供たちの腰位の深さ(約75cm)まで浸水したことを学習しました。



洪水時の危ない場所（水田）

道路より一段低い水田は、洪水時は道路より水深が深くなって危ないことを学習しました。



地元の水害体験者より7.11水害当時の様子を聞き取り（松村橋）

7.11水害当時、松村橋は低い吊橋で戸野目川の上流から流れてきた材木などが引っかかり、危険でした。水害後に現在の橋に架け替え、堤防を嵩上げし、以前より安全になったことを聞き取りました。



地元の水害体験者より7.11水害当時の様子を聞き取り（松村新田）

7.11水害では、住民が戸野目川の堤防に土のうを積んだが、泥水が堤防を乗り越えて住宅地に入ってきたことを聞き取りました。



松村新田住宅ブロックの7.11水害の水位痕跡
松村新田住宅ブロックにある7.11水害の水位痕跡は、約80cmの高さにあり、住宅の中まで浸水したことが分かりました。

小学校の学習支援『川学習の出前講座』



洪水時の危ない場所（蓋のない側溝）

道路脇にある蓋のない側溝は、洪水時は濁った水で見えなくなるため、側溝に落ちないように道路の真ん中を歩くことを学習しました。



洪水時の危ない場所（排水路）

排水路は、洪水時に周りから水が集まり、流れも急になるため、近づかないようにすることを学習しました。



洪水時の避難場所

もし外にいる時に洪水になり、近くに避難場所がない場合は、コンクリートの2階建て以上の建物の避難することを学習しました。



水防倉庫

水防時に水防団のみなさんが使用する土のう袋やライフジャケット、照明、ゴムボートなどを見学しました。



関川の堤防の高さ

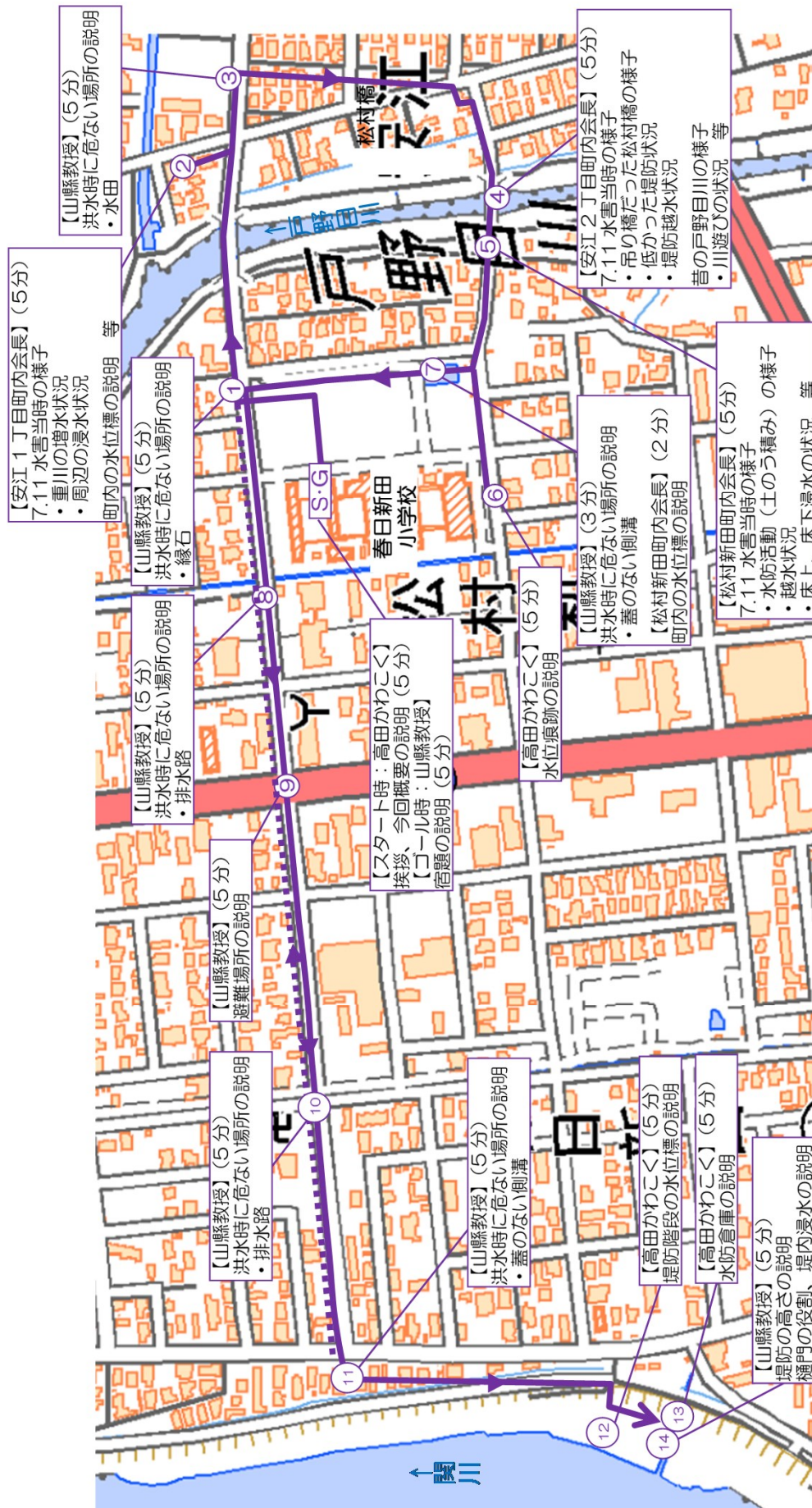
子供たちが関川の堤防に座り、住宅地と比べて堤防がどのくらい高いか確認しました。堤防の高さは3m以上ありました。



宿題の説明

最後に小学校周辺の地図が配布され、次回講座までに通学路にある洪水時に危ない場所や避難場所をチェックしてくるという宿題が出されました。

第2回「川の防災に関する現地学習」 別紙-1 現地見学ルート



出典：電子国土 Web (<http://maps.gssi.go.jp/>) ※下図に電子国土 web 地図を使用して作成

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

第3回「川の防災に関する自己学習」実施結果

日時・場所：平成28年11月9日(水)、11月10日(木) 春日新田小学校第2多目的室

- 内容：①通学路やその周辺の洪水時に危ない場所や避難場所を地図にまとめる
②7.11水害における小学校周辺の被害
③洪水ハザードマップ
④もし洪水が起きたらどうすればよいのだろう
⑤川は友達
⑥全3回講座のまとめ

➤ 第3回 アンケート結果



通学路の確認

地図で自分の家を探してシールを貼り、家から小学校までの通学路を確認しました。



通学路やその周辺の危ない場所、避難場所

危ない場所を黄色いふせん、避難場所を青色いふせんに書き、みんなで地図にまとめました。



みんなで完成させた地図

子供たちが探してきた危ない場所や避難場所が書かれたふせんでいっぱいになりました。



7.11水害における小学校周辺の被害

地図と7.11水害の浸水範囲を重ねたところ、小学校周辺の広い範囲で浸水したことが分かりました。



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップの浸水予想範囲は、7.11水害の浸水範囲よりさらに広く、予想よりも広い範囲で浸水する可能性があることを学習しました。



もし洪水が起きたらどうすればよいのだろう

洪水に関する放送に注意する、浸水が始まったら外を歩かない、洪水に備えて家族と話し合っておくなどを学習しました。



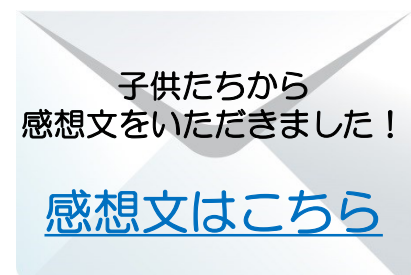
川は友達

川は洪水時は恐ろしいが、普段は美しい景色などを与えてくれる存在であることを学習しました。子供たちからは川で遊んだ経験を発表してもらいました。



全3回講座のまとめ

今回の講座をきっかけに洪水に備えて家族と話し合ってもらいたいこと、子供たちに参加してもらっている関川美化活動に対する感謝を伝え、講座を終了しました。



子供たちから
感想文をいただきました！

[感想文はこちら](#)